

医療体制

在宅医療の推進体制は

総合戦略改定の中で反映

問 医療、介護の総合的な確保の促進に関し町として、在宅医療を推進し住民の命を守るため新診療所を設置するよう住民の声を聴き計画を作成するか。

十分な説明がないまま直営診療所において、薬剤の投与がされないために費用がかさみ、住民は極めて困っているが、対策を講じるか。

答 松本町長

総合戦略の中で見直しを実施し住民の声を含め反映させていく。在宅医療の充実は今後の超高齢化社会を迎える前段にあり対応する。医療従事者の確保、基本的な総合戦略の見直しを図りながら課題解決に向かつていきたい。

佐賀、拳ノ川、鈴、伊与喜診療所の耐震、衛生施設の管理を問う。

薬剤の投与について十分な説明をせずに院外処方にした事は、深く反省をしている。住民の負担軽減に努力しなければいけないと考えている。

佐賀、拳ノ川診療所は耐震、トイレの水洗洋式工事は完了している。鈴は耐震工事が未了、トイレは水洗洋式化が完了、伊与喜はともに未了。



議員 矢野 昭三

耐震が急がれる
鈴診療所・消防屯所



耐震・トイレの水洗洋式化
が急がれる伊与喜診療所

町内産材

住宅建設に

活用は

前向きに

取り組む

問 町内産の木材活用は様々な効果が期待できるが、町は振興のためにも財政支援をするか問う。

答 松本町長

新たな制度を協議しているが、他の産業にも経済効果がありスピード感を持って進める。

治水対策

可動堰が

必要では

県と協議する

問 伊与木川の治水対策は可動堰にすることが必要ではないか。

水力発電は環境に優しい電力、これからも共に守っていく必要があるが県を始めとする関係機関と協力して課題解決に取り組むか問う。



頭首工の下流右岸に放水口、左岸に堆積土砂と葦

答 松本町長

水力発電は町としても大切にしていかなければならないが、可動堰の可否を総合的に判断し、県と協議していきたい。

国道56号

強靱化工事が 必要では

引き続き要望

問 唯一の幹線国道56号は、荷積から不破原間において地形急峻、土質軟弱、線形不良箇所があり、強靱化工事が必要ではないか。

答 松本町長

国土交通省は、法面など毎年点検調査を実施。当区間は、災害対策拠点と避難拠点を結ぶ重要区間。小黒ノ川で視距改良工事中、他にも線形不良、災害危険箇所があり引き続き要望する。

【その他の質問】

・合併協定項目について